



2026
Connect and Grow.

つ
な
が
る
看
護
、
ひ
ろ
が
る
未
来。
。



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital



「人と関わるのが好き」
この想いが、看護の原点。

寄り添う一步を、地域を支える力に。

地域を支え、未来へつなぐ。学びを止めない看護師へ。

地域の中核病院として、私たちは最善で質の高い医療・看護の提供を目指しています。進化し続ける医療現場で求められるのは、患者さんの安全を第一に考えた質の高いケアです。そのため当院では、新人からキャリアアップを目指す方までを支える充実した教育体制を整え、「常に学び続ける姿勢」を大切に自己成長を支援しています。近年、医療は病院完結型から地域完結型へと変革し、それに伴って看護師の役割も拡大しています。私たちは、病院での治療だけでなく、退院後の生活まで見据えた支援が求められています。地域の方々や多職種と連携し、患者さんが入院で生活を分断されることなく、スムーズに元の生活へ戻れるようサポートすることが重要です。変化に柔軟に対応し、地域や社会とつながりながら、未来の看護を担う人材をともに育てていきたいと考えています。私たちと一緒に、地域医療の「今」と「未来」を支えていきましょう。

専門性を磨き、挑戦し続ける。

3 すべての人に健康と福祉を



命を繋ぐ最前線で、最高の専門性を磨きたい。
当院の救急救命センターは、命を救う専門性の高い医療チームです。看護師には、急変兆候を早期に察知し迅速に介入できる判断力と確かな技術が求められます。救命病棟・ERは知識や技術を幅広く身につけられ、大きなやりがいを感じられる環境です。部署では、ER夜勤リーダーを対象にフィジカルアセスメントの勉強会や症例の振り返りを行い、組織的なスキルアップを支援しています。また看護師一人ひとりが「常に新しい知識を学ぶこと」を重視し、疾患や症状から悪い事象を予測・予防しながら、患者さんに寄り添う看護を実践しています。「もし自分だったらこうしてほしい」と、自分事として考える姿勢を大切にしています。

救命救急センター
クリティカルケア認定看護師 スズキ ユージ



目に見えない痛みに寄り添い、安心へと繋ぐ看護。
私たちは麻酔科医、薬剤師、手術室看護師からなる専門チームとして活動しています。手術翌日にはチームで回診を行い、痛みの評価や鎮痛薬の効果・副作用を確認します。術後疼痛を緩和し、患者さんの早期離床につなげることが重要な取り組みです。チーム全員が術後訪問を行い、手術体位や術式だけでなく、患者さんの背景・不安・価値観まで含めて評価します。患者さんが安心して痛みを伝えられる環境づくりを大切にしています。痛みは目に見えないため、表情やバイタルサインのわずかな変化から、言い出しづらい痛みを察知することを重視しています。さらに、手術看護認定看護師などの専門家から症例検討やアドバイスを受ける機会を設け、常に学び続ける姿勢を大切にしています。

手術センター
看護師 中村 仁美



「いのち」の始まりを支える、専門チームの一員に。
産科・小児科・麻酔科・看護部が密に連携し、専門的で質の高いケアを提供する高度な周産期医療チームです。合併症や早産などのハイリスク症例にも対応できる体制のもと、妊娠・出産・育児まで切れ目ない支援を行い、母子が安心して療養・育児に臨めるよう努めています。安全で質の高いケアを提供し続けるために、定期的な勉強会やシミュレーショントレーニングを実施し、最新のエビデンスや技術を共有しています。誰が担当しても安心して出産に臨める環境づくりに取り組んでいます。また、専門性を高めるため、最新の知識を実践へ活かしながら「なぜ」を問い直す姿勢を大切にしています。妊産婦さんの小さな声にも気づける感性を大切に、より良いケアにつなげていきたいと考えています。

周産期母子医療センター
アドバンス助産師 鈴木 志乃

多職種と共に、歩む。

チームで協働し、患者さんの生活を支える看護



当院は、患者さんとご家族をチームの一員と捉え、QOL（生活の質）の維持向上を目指す「チーム医療」を実践しています。看護師は、患者さんの不安や生活情報を深く把握し、それを医師・薬剤師・栄養管理士など多職種の専門家と共有します。病院全体で定期的にカンファレンスを開催し、情報共有と役割分担を徹底し、各専門職が知識と技術を持ち寄り、共通の目標に向かって協働しています。また、継続してより良い医療支援を行うため、チーム内で支援内容の評価も行っています。

5階東病棟
看護師 鈴木 陽子

なりたい看護師へ、



新人看護師
4階東病棟
看護師 加藤 碧



中堅看護師
経験年数 12年
6階西病棟
看護師 内山 歩美

夢を叶え、成長できる場所。ともに一歩ずつ。

新人として働き始め、不安を感じることもありますが、困った時にすぐ相談でき、細かなところまで気にかけてくれる先輩のおかげで、日々安心して奮闘できています。新人研修では、注射研修プログラムが特に印象的でした。患者さん役を通して苦痛を理解し、インジェクションナースの指導のもと失敗と成功を経験することで、実践的な学びが安全で苦痛の少ない看護につながっています。目標は、安全を守りながら業務スピードを上げること。そして、患者さんの思いを丁寧に聞き、寄り添う気持ちを大切にしたい個性のある看護を提供することです。自分のケアに対して患者さんやご家族から温かい言葉をいただけたとき、大きな喜びを感じます。

寄り添う心を大切に、挑戦を続けていく。

私は患者さんの思いに寄り添い、信頼関係を築くことを大切にしています。忙しくても、患者さんやご家族とのコミュニケーションは欠かしません。准看護師として7年間働く中で知識不足を痛感し、子育てと仕事を両立しながら正看護師の資格を取得しました。職場の協力と家族の支えがあったからこそ、乗り越えられた挑戦です。現在はリーダー業務や後輩指導を行う中で、的確な判断や根拠に基づく指導の難しさを感じていますが、責任ある役割を担いながら先輩看護師から学び、日々スキルアップを続けています。当院は教育システムが整っており、基本的な知識から高度な技術まで習得できます。努力と成長を諦めず、これからも様々な挑戦をしていきたいです。

一歩ずつ近づける。



ジェネラリスト
経験年数 29年
7階東病棟
看護師 永島 昌子



スペシャリスト
経験年数 22年
病院総務課 教育研修室
糖尿病看護認定看護師 森田 洋一

寄り添い、多角的に支える。生涯現役の学びを胸に。

私は、患者さんの苦痛や複雑な思いに寄り添うことを大切にしています。内科、手術室、周産期、NICU、救命救急、救急外来、外科と、多様な部署で経験を積んできたことで、状況に応じた多角的な視点が培われました。目指す姿は「生涯現役で現場に立ち続ける看護師」です。昨年度から特定行為研修に挑戦し、学び続ける姿勢を大事にしています。看護に終わりはなく、資格取得後も知識と技術の向上を続けていきたいと思っています。当院は、良いものを積極的に取り入れる前向きな職場で、ワークライフバランスも大切にしています。変化の中で成長を実感できる、働きがいのある環境です。

傾聴から広がる、地域と生活を繋ぐ支援へ。

私は、相手の話を丁寧に聴く「傾聴」を最も大切にしています。患者さんの状態を的確にアセスメントし、異常の早期発見に努めています。チーム医療の一員として他職種との役割を理解し、円滑なコミュニケーションを通じて質の高い医療を目指しています。また、病院と地域をつなぐ連携を学び、病気を抱えながらも安心して生活できるよう支援しています。特に生活習慣が影響する糖尿病分野では、自己管理能力を高めるための支援に力を入れています。病状だけでなく生活背景や価値観にも目を向け、その人らしい暮らしを守るよう、看護の専門家として知識と判断力を磨き、住み慣れた地域で安心して過ごせる支援を目指します。

Point

学ぶ意欲を育み、成長を支える

新人教育・支援体制



1 全員参加で支援

2年目以上の全職員で新人を支援します。あえてプリセプター制度を導入しないことで「全員で新人を支える意識」を強化し、誰にでも相談できる環境を整えています。



2 2年目から配属

研修したい部署を調査し、臨床研修プログラムで5カールのローテーション研修を実施。研修終了後、希望部署を再調査し、希望先で長期研修を受け、2年目に正式配属となります。



3 新人部屋の確保

ローテーション研修中は、新人専用の部屋を設置します。同期看護師との絆を深め、将来的に支え合い、高め合っていけるような仲間づくりを目的としています。

実践的研修



新人臨床研修制度により、基本的な看護技術に加え、専門性の高い技術などを習得し、日常業務を学ぶ。

Point

働き続けたいくなる環境

バレーボール活動



看護師 蓮池 希美

仕事も活動も全力で。思いやりが巡る職場。

私はバレーボールチームに所属し、毎週火曜・木曜の19~21時に練習し、自治体病院協議会球技大会の地区大会や県大会にも出場しています。参加できる勤務の日には、積極的に練習に参加しています。普段あまり運動する機会がないため、仕事後のバレーボールは心身をリフレッシュできる大切な時間です。当院で働いていて良かったと感じるのは、コミュニケーションが取りやすく、働きやすい環境があることです。職員一人ひとりが互いを思いやって働いていると日々感じます。この思いやりの文化こそが、長く働き続けられる基盤になっています。当院は、困難な業務でも支え合い、リフレッシュできる活動にも理解がある、調和の取れた職場だと思っています。

ワークライフバランス



看護師長 河島 智子

仕事も生活も楽しむ。心磨きが、質の高い看護に繋がる。

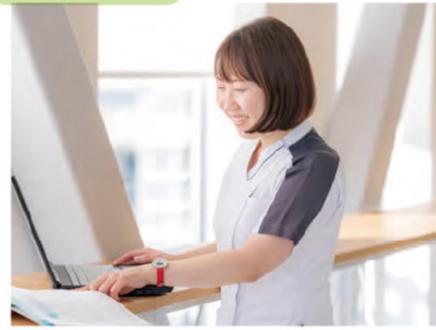
私のモットーは、「仕事も生活も楽しむ」ことです。休日は家族とドライブに出かけ、道の駅や地元のおいしいものを巡りながら、プチ旅行気分ですリフレッシュしています。当院は、看護師だけでなく全スタッフの仲が良く、チーム医療がしっかり機能しています。連携して患者さんのケアにあたることで、高い医療とケアを提供でき、成果もチームで共有できるため、達成感や充実感が倍増します。これは日々のモチベーション維持にもつながっています。人を相手にする看護師だからこそ、自分自身の心を整えることが大切です。当院には長期休暇カレンダーがあり、夏休みを活用した連続休暇も取得しやすい仕組みが整っています。計画的にリフレッシュすることで、質の高いケアへと繋がっています。

継続看護と地域連携

住み慣れた地域で切れ目のない支援を提供

その人らしさをつなぐ。

外来



看護師 佐原 みどり

入院前から退院後まで、生活と治療を繋ぐ。
その人らしい生き方を支える外来看護。

外来は、患者さんの入院前から情報収集・調整を行い、治療と生活の流れを整える重要な役割を担っています。入院から外来通院まで一貫して関わる中で、生活背景や価値観を丁寧に聞き取ることを大切にしています。「どんな生活を送りたいか」「治療を通してどうなりたいか」を患者さん自身の言葉で語ってもらい、自宅での生活を見据えた支援と一緒に考えています。私は糖尿病療養指導士として、慢性合併症や腎症重症化予防のための療養指導に力を入れています。患者さんと深く関わり、必要に応じて多職種へつなげられることが、外来での継続看護の大きな魅力です。

入院支援



看護師 金井 千春

入院前の不安を、安心に変える。
患者さんが「自分事」として想像できる配慮を。

入院支援は、患者さんが安心して治療に専念でき、退院後の生活をスムーズに準備できるよう支える大切な窓口です。患者さんから「安心して入院できる」「気になっていたことが解決した」という声をいただくと、大きなやりがいを感じます。面談では、一問一答にならないよう、常に傾聴を心掛けています。難しい専門用語を使わず、患者さん自身が「自分事」として入院生活を想像しやすいよう配慮しています。この入院支援の分野で専任として5年間携わってきました。今後も患者さんの不安を和らげ、その人らしさを大切にしながら継続看護・意思決定支援を続けていきたいと考えています。

退院支援



看護師 帯金 直美

退院後の生活を見据え、その人らしい毎日を支える。
地域と病院を繋ぐ看護。

退院支援の役割は、患者さんが安心して治療に向き合い、退院後もその人らしい生活を続けられるよう支えることです。院内外の多職種と連携し、患者さんの意向に沿ったサポートを行っています。必要な介護サービスを利用し、自宅で困らず過ごせていると聞けた時は、大きなやりがいを感じます。継続看護や意思決定支援では、患者さんやご家族の気持ちに寄り添い、丁寧に話を伺うことを大切にしています。介護サービスや地域医療の情報もわかりやすく伝え、納得して選択できるよう心掛けています。当院は研修の機会も多く、学びを生かしながら看護の質をさらに高めていきたいと考えています。

地域と人をつなぐ。



DMAT

救命救急センター看護師
鶴飼 亮太

救急・災害の最前線で、地元「磐田」を支える。
顔の見える関係で貢献していく。

私が地域活動で大切にしているのは、市の防災担当者や職員の方々と顔の見える関係をつくり、地元・磐田への貢献意識を持つことです。院内の防災活動に加え、市の防災活動への参加や、DMAT（災害派遣医療チーム）としての実働・訓練にも積極的に取り組んでいます。救急と災害医療を中心に、現在は特定行為研修（術中麻酔パッケージ）も修了し、さらに専門性を高めて貢献しています。こうした経験と知識を活かし、あらゆる状況に対応していきたいと考えています。当院で働くことは、地元・磐田の地域医療に直接貢献することにつながります。地域の安心・安全を守るため、日々の看護業務とともに防災・災害活動に取り組めることを大きな誇りに感じています。



医療安全推進室

看護師長
本多 真琴

現場に寄り添い、安全の芽を育てる。
多職種で築く、質の高い医療を。

私は医療安全管理者として勤務しています。日々のヒヤリハット報告を精査し、早急な改善が必要な事例は該当部署に連絡して状況を確認し、対策を話し合っています。毎月の連絡会では、メンバーとともに事例を検討し、改善策を立案しています。これらの事例や改善策は、毎月発行する『医療安全ニュース』を通して院内に広く周知しています。ヒヤリハットから改善策を検討し、多職種で共有し取り組むことが、安全で質の高い医療・看護につながると思っています。そのため、職員が積極的に報告を挙げられるよう働きかけも行っていきます。病院全体で質の高い医療を提供し、当院で療養される患者さんに安心していただけるよう、今後も取り組んでいきたいと思っています。



緩和ケアセンター

ジェネラルマネージャー
がん性疼痛看護認定看護師
太田 果苗

「生きる」を支えるケア。
患者さんの人生を地域と協働して見つめていく。

私は医師、薬剤師、臨床心理士など多職種と協働し、緩和ケアが必要な患者さんやご家族、医療スタッフの支援に携わっています。がん性疼痛看護認定看護師として、がんや治療に伴う心身のつらさを和らげることを専門としています。さらに、がんゲノム医療、AYA世代の支援、妊孕性温存など、がん患者さんが抱える幅広い課題にも対応できるよう、ケアの質を高めています。病棟では、患者さんの人生や生活の一部しか見えていません。だからこそ、暮らしを支える地域の医療・福祉関係者をつなぎ、相談し合うことが大切だと考えています。病気の治療だけでなく、「生きる」を支えるケアを提供することが私たちの使命です。



認知症疾患医療センター

認知症看護認定看護師
田森 智美

傾聴と対話を大切に、価値観を尊重。
24時間切れ目のない認知症ケアを目指す。

地域や他施設での研修を通して、認知症に関する情報提供や相談対応を行い、顔の見える関係づくりに取り組んでいます。認知症の方とご家族の理解者となる認知症サポーターの養成を行っています。認知症の方は慣れない環境や治療に混乱をきたしやすい、環境調整やコミュニケーションの工夫が必要です。リンクナースや認知症サポーター、多職種と協働し、生活習慣や好きなことを取り入れた「日常」に近い療養環境づくりに取り組み、安全に治療を終え、住み慣れた地域に戻れるよう支援しています。患者さんやご家族、関わるスタッフとの対話を重ね、24時間切れ目のない認知症ケアの提供を目指します。

つながりを広げる地域活動



副看護部長
高橋 美千子

地域のニーズを知り、命を繋ぐ。
災害医療のスペシャリストとして貢献。

私はDMAT（災害派遣医療チーム）のスペシャリストとして、地域のニーズを把握し、多職種・多機関と協働して「顔の見える関係づくり」を大切にしています。現在は、大規模災害時に病院が軽症者でパンクしないよう、隣接する場所へ病院前救護所を設置する取り組みを、行政や医師会などと進めています。これは、一人でも多くの命を救うための効率的な体制づくりです。また、DMATコーディネーターとして、地域の看護師に向けたトリアージ研修や救護所運営研修も行い、地域一体で命を守る活動に力を注いでいます。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



磐田市立総合病院は持続可能な開発目標(SDG's)を支援しています。



基本理念

医療の原点は思いやり

この基本理念を達成するため、5つのテーマを念頭におき、心温かで、心豊かな患者サービスを提供し、地域の人々に信頼され親しまれる病院づくりを目指します！



1. やさしさ

人間を大切にし「心と心のふれあう人間観の中で」ひとりひとりの患者さんやご家族の皆様に思いやりのある心をもつ。

2. プライバシー

患者さんのプライバシーに配慮するため、互いに理解しあい、相手の個性を認めた上での接し方や説明を行う。

3. アメニティー (快適環境)

患者さんが快適に入院生活を過ごすことができるように、清潔で静かで安心できる環境を提供する。

4. わかりやすさ

患者さんの立場をよく理解し、わかりやすい方法で接する。

5. スピーディー

来院から退院まで、院内各部門の協力体制により迅速な対応を行う。

看護部理念

当院の基本理念である「医療の原点は思いやり」に基づき地域の皆さまに信頼される安全で質の高い看護を提供します

1. 私たちは、常に“やさしさ”“温もり”をもち、心に寄り添う看護を提供します。
2. 私たちは、地域の医療・保健・福祉と連携した看護を展開します。
3. 私たちは、専門職業人として自己研鑽に努めます。
4. 私たちは、多職種と協働し患者中心のチーム医療を推進します。
5. 私たちは、病院職員として病院経営に参画します。
6. 私たちは、互いの多様性を認め、助け合える職場をつくります。

パンフレットの誕生ストーリー

このパンフレットを作るにあたり、「今年、私たちはどのようなメッセージを伝えたいのか」を先輩たちと改めて話し合いました。当院の看護師として、人とのつながりを大切にし、一人ひとりの患者さんの想いに寄り添いながら、地域を支える看護を実践していきたいという想いを伝えたいと考えました。また、その想いを未来へつなげていくために、学び続ける姿勢を大切に、全員で新人を育て合い、互いを尊重しながら成長できる環境があることも知ってもらいたいと考えています。個性を活かし、安心して働き続けながら、地域とともに歩む看護の舞台がここにある。そんな私たちの想いを、このパンフレットに込めました。

看護体制

看護配置：一般病棟入院基本料 7対1

勤務体制：一般病棟変則 2交代勤務

看護方式：継続受け持ち制をとり、担当看護師は入院から退院まで責任を持って受け持ち患者さんに看護を提供しています。

病院概要

病床数：500床

併設施設：健診センター/救命救急センター/周産期母子医療センター/外来東館(化学療法室・放射線治療科・相談支援センター)



お車をご利用の場合

東名高速道路「磐田IC」から約7分
磐田バイパス「見付IC」から約10分

公共バスをご利用の場合

JR「磐田駅」より遠鉄バス「磐田市立病院行」約25分

ACCESS



磐田市立総合病院

IWATA CITY HOSPITAL

〒438-8550 静岡県磐田市大久保 512-3

tel. 0538-38-5000(代表)

RECRUIT SITE



看護部のくわしい情報はこちら!

磐田市立総合病院 看護部 採用サイト

